

病理学・口腔病理学

[講義] 第2学年～第3学年 通年 選択 5単位

《担当者名》安彦 善裕 (歯学部 yoshi-ab@ 佐藤 惇 (歯学部) j-sato@ 吉田 光希 (歯学部) denty@
森川 哲郎 (歯学部) t-morikawa@
下野 正基 (非常勤講師) 松坂 賢一 (非常勤講師) 松原 茂 (非常勤講師) 瀨野 弘規 (非常勤講師)

【概要】

口腔病理学は歯をはじめ口腔領域に発生する疾病や病的状態、その原因、発生機序、転帰などを究明することを目的とする歯科基礎医学の一分野で、臨床歯学と予防歯学と密に関連している。病理学総論を理解したうえで、口腔領域の諸疾患に対し、診断・処置・予防法を正しく、合理的に遂行するための基礎的な知識を与える。

【学修目標】

講義及び実習により、正しい疾病観、具体的な疾患のイメージを会得し臨床歯学及びその実地教育へ進む基礎的な知識を身につける。

病理組織像から疾患を診断することができるための基礎的な知識を身につける。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

安彦善裕（歯科医師）、佐藤 惇（歯科医師）、吉田光希（歯科医師）、森川哲郎（歯科医師）、
下野正基（歯科医師）、松坂賢一（歯科医師）、松原 茂（歯科医師）、瀨野弘規（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

病理専門医および歯科医師としての医療機関での実務経験を活かし、特に歯科治療において実際に経験することの多い疾患について効果的な教育が期待できる。

非常勤講師においても、全員が歯科医師でありまた日常的に歯科医院にて実務を行っている者が多く、歯科治療における口腔病理学的知識の必要性をより実感させることができる。